

MEMS 協議会の概要

1. 設立趣旨
2. 事業活動内容
3. 構成メンバー
4. 参加ご案内
5. 組織・体制

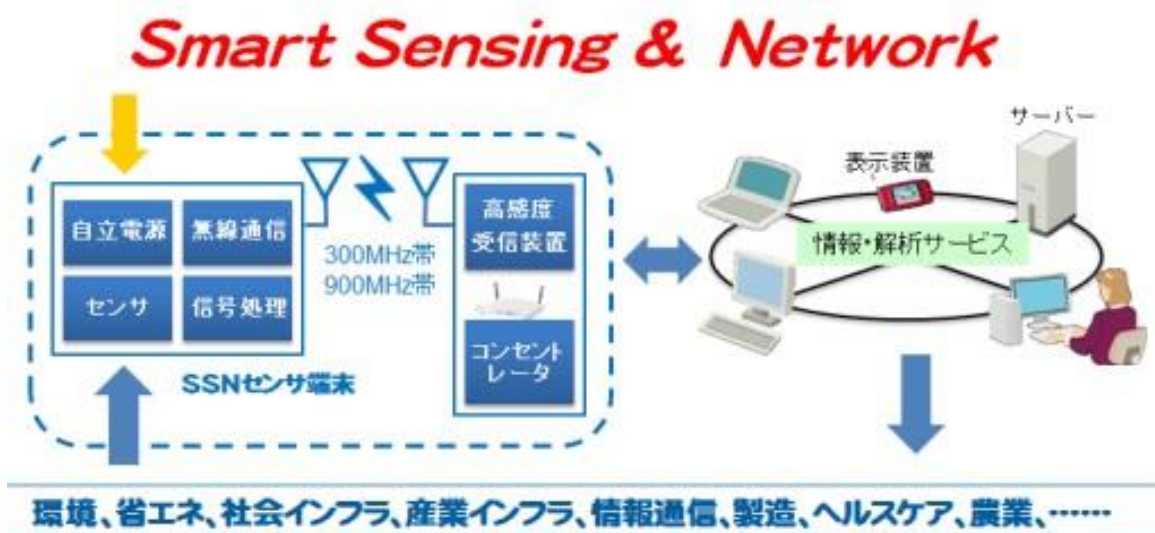


一般財団法人マイクロマシンセンター／MEMS 協議会

1. 設立趣旨

今やMEMS技術はわが国産業の競争力強化にとって極めて重要なものとなりつつあります。また、「産業のママ」と言われるMEMS デバイスを活用したMEMS デバイス・製品の市場が拡大し、産業としての広がりが進展しつつあります。

このような状況を踏まえ、政策提言活動や産業交流・活性化活動を通じてMEMS産業の一層の発展を支援し、わが国産業の国際競争力強化に貢献することを目的として、MEMS関連企業を主要構成メンバーとするMEMS協議会を 2006年4月に設置することとしたものです。



2. 事業活動内容

MEMS協議会は、MEMS産業の一層の発展を支援し、わが国産業の国際競争力強化に貢献することを目的として、行政、関係機関への政策提言活動や、産業交流・活性化のための諸々の活動を推進しております。これらの事業展開に際しては、MEMS 関連企業の構成メンバーが中心となり、アフィリエイト関係にあるアカデミー、地域拠点、海外機関等と連携しつつ活動を行っていきます。

【政策提言事業】

行政、関係機関に対して基盤技術開発、産学連携、人材育成、規格・標準化、海外展開等の MEMS産業発展のための基本問題に係る政策提言を行う。

行政、関係機関との意見交換会の開催

MEMS協議会推進委員会と行政、関係機関との意見交換会を開催する。

MEMS協議会フォーラムの開催

毎年対外的な政策提言等のアピールを行うための MEMS協議会フォーラムを開催する。

MEMS事業者連携委員会の開催

IDM、MEMS組み込み電子部品製造・ファブレス、ファウンドリ、受託加工・サービス事業者、装置メーカー、材料メーカー、解析ソフト・技術コンサルと、分野を超えたMEMS関連事業者が委員・協力委員となり、お互いに抱える課題等を分析し、競争力を高めていくための方策の検討を行い、政策提言などにつなげ、経済産業省やNEDO等からMEMS事業者に有益な施策を打ち出していただけるような活動を行う。

【産業交流・活性化事業】

◇産学連携活動

研究会活動の推進

特定のテーマにつき、関心をもつ企業メンバーが集まり産業調査、技術調査、新規プロジェクト検討、標準化活動などの研究会活動を行う。適宜、行政、大学等の有識者を研究会メンバーに加える。

■SSN 研究会

本研究会は、SSN（スマートセンシング&ネットワーク）を社会実装して、新たな市場創出を目指し、様々なアプリケーションに対応できる共通プラットフォームの構築や先端技術開発の検討を行う。

先端技術交流会活動

先端技術への認識と理解を深め、マイクロナノ技術の普及啓発と産学の交流を図ることを目的として、大学、産総研等の有識者を招聘して講演会及び懇談会を行う。

国内研究機関・大学研究室等との連携強化

MEMS分野の研究に係る国内研究機関、学会、大学研究室との連携を強化する。

◇MEMS開発のためのインフラ整備活動

MNOIC（マイクロナノ・オープンイノベーションセンター）の推進

マイクロナノ分野のイノベーションセンターを実現する場を提供する仕組みとして設置したMNOIC（マイクロナノ・オープンイノベーションセンター）の活動を推進する。MNOICは、国主導でつくばの地にナノテク拠点づくりを進めようとするTIA事業の一環として、産総研と連携して設置したもので、世界的なMEMS拠点を目指す。

人材育成事業の推進

MEMS技術者を増大させ、MEMS産業の裾野を広げることを目的としてMEMS技術者を対象にしたMEMS講習会の実施およびMEMS人材育成の環境整備を行う。

各地の公的ファウンドリ、地域クラスターとの連携強化

各地域において、MEMS開発のため活動を積極的に行っている公設試、地域クラスターとの連携強化を図る。

【MEMS ビジネス内外交流活動】

総合イベント「MEMSセンシング&ネットワークシステム展」の開催

マイクロマシン/MEMS展、国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウム、国/NEDO等プロジェクト成果発表会、MEMSフォーラム等のイベントを包括する総合イベント「MEMSセンシング&ネットワークシステム展」を毎年開催する。

国際マイクロマシンサミット

マイクロマシン/MEMSに関する教育、技術動向、政策やトピックス等の現状や将来展望を自由に議論する場である国際マイクロマシンサミットに参加し、各国とマイクロナノ技術の開発・応用に関しての幅広い意見交換を行う。

海外ミッションの派遣／海外展示会への出展

海外のMEMS企業・研究機関に調査ミッションを派遣して意見交換、ディスカッションを行うほか、海外でのMEMS関連展示会・イベントに積極的に参加し、海外交流活動を進める。

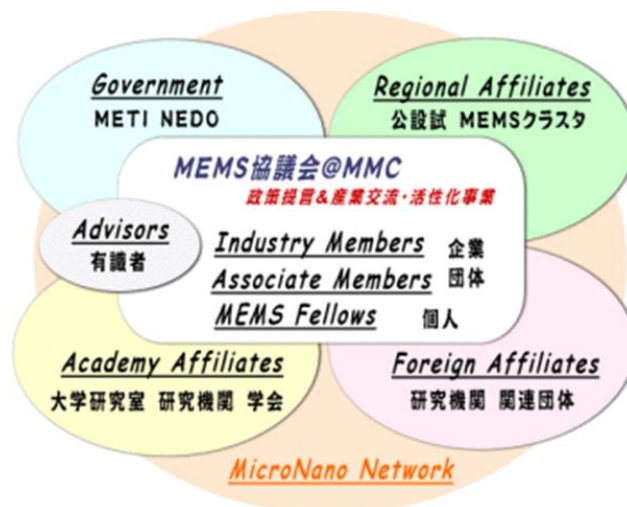
海外MEMS関連団体・研究機関との連携強化

海外のMEMS関連団体・研究機関とのアフィリエイト関係を構築し、MEMS協議会の活動内容を発信するとともに、海外企業とのビジネス交流を促進する。

3. 構成メンバー

MEMS協議会は、MEMS産業を担う企業を主な構成メンバーとして、行政に対する政策提言活動や産業交流・活性化のための事業を展開し、MEMS産業の一層の発展を目指していきます。

また事業展開に際しては、企業を中心とする正メンバー、アソシエートメンバーに加えて、アカデミー、地域、海外のMEMS関連機関とも連携し、さらには行政、大学等の有識者にアドバイザーとして協力を求め、産学連携等のネットワークの輪を広げた活動を行っていきます。



【協議会メンバー】

MEMS協議会は、MEMS産業を担う企業を中心として事業を展開していきます。すなわち趣旨に賛同し共に協議会活動を遂行する企業には正メンバーになっていただきます。また、協議会のネット交流や各種イベントへの優待参加などの活動に協力・協賛していただける企業・団体・中小ベンチャー・個人についてはアソシエートメンバーとさせていただきます。

● 正メンバー（企業）

共に協議会活動を主体的に遂行していきます。次のような MEMS に関わる分野の企業の方が対象となります。

- MEMS デバイス（インハウス） ● MEMS デバイス（ファウンドリ）
- 製造装置・計測機器 ● 設計解析ソフト ● MEMS 応用製品
- システムインテグレーション 他

● アソシエートメンバー（企業・団体）および MEMS フェロー（個人）

協議会のネット交流や各種イベントへの優待参加などの活動に協力・協賛していただける企業・団体・個人の方が対象となります。中小ベンチャーの方も歓迎します。個人の場合は、特に MEMS フェローとします。

【協議会アドバイザー】

MEMS協議会は企業メンバーを中心として活動を行いますが、企業以外にも協力を求め、連携を強化していきます。具体的には、行政、大学等の有識者についてはアドバイザーとして協議会活動に対して適切なアドバイスをお願いしていきます。

【協議会アフィリエイト】

さらに企業以外にアカデミー、地域、海外等の立場から、MEMS 産業発展のため協議会活動と提携していただける機関をアフィリエイトとして連携をお願いしていきます。

- 研究機関、学会、大学研究室などの国内アカデミー機関
- 公設試、MEMSクラスターなどの各地のMEMS開発拠点
- 海外のMEMS関係団体や研究機関

4. 参加ご案内

MEMS協議会のメンバー制として、政策提言事業や産業交流・活性化事業の協議会活動を共に行う正メンバーに加えて、マイクロナノネットへの参加（ニュースレター配信、ネット交流）や各種イベントの参加料割引等の特典中心のアソシエートメンバー（企業・団体）およびMEMSフェロー（個人）を用意しています。

皆さまには、MEMS協議会の趣旨に賛同していただき、是非ともニーズに応じた入会をお勧めします。必ずや皆さまの企業のビジネス発展に役立ち、同時にわが国MEMS産業の一層の発展に貢献していただけることを確信しております。

[MEMS協議会のメンバー区分]

正メンバー（企業） member

政策提言事業や産業交流・活性化事業の協議会活動に参画できます。同時にマイクロナノネットへの参加（ニュースレター配信、ネット交流）や各種イベントへの優待参加などのメンバー特典があります。

MMCの一般・特別賛助会員には無料で自動的にMEMS協議会のメンバーシップが付与されます。

MMC賛助会員以外の方は、年会費100万円が必要です。

アソシエートメンバー（企業・団体向け） associate member

マイクロナノネットへの参加（ニュースレター配信、ネット交流）や各種イベントへの優待参加などのアソシエート特典があります。

MMCの情報・団体賛助会員には無料で自動的にMEMS協議会のアソシエートメンバーシップが付与されます。

MMC賛助会員以外の方は、年会費（企業：30万円、団体：20万円、中小ベンチャー・公的機関：5万円）が必要です。

なお、団体についてはMEMS協議会との相互入会による会費相殺ができるものとします。

MEMSフェロー（個人向け） MEMS fellow

マイクロナノネットへの参加（ニュースレター配信、ネット交流）や各種イベントへの優待参加などのフェロー特典があります。

MEMSフェローに入会するには、年会費5千円が必要です。

有識者アドバイザー（協議会が委嘱する個人） advisor to MIF

MEMS協議会活動へ適宜アドバイスを行っていただきます。必要に応じて協議会活動にも参画します。

アフィリエイト（大学、公設試など）affiliate organization

活動の相互 PR、会報の相互提供、イベント相互案内などを通じて、協議会活動と提携します（具体的な提携内容は個別対応）。マイクロナノネット（ニュースレター配信、ネット交流）に参加できます。またMEMS センシング&ネットワークシステム展における公的ブースへの無料展示は MEMS協議会のアフィリエイトであることが必要条件となります。

アフィリエイト登録は無料です。

【メンバー入会方法】

別添の「MEMS協議会メンバー入会申込書」に必要事項をご記入の上下記あて送付またはメール願います。

（送付先）

〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸67 MBR99 ビル6 階
一般財団法人マイクロマシンセンター MEMS 協議会 事務局 宛
TEL : 03-5835-1870 FAX : 03-5835-1873
E-mail : mif@mmc.or.jp
URL : <https://www.mmc.or.jp/mif/>

[メンバー区分による特典内容]

特典内容	member	associate		MEMS fellow (個人)
	正メンバー	(企業・団体)	(中小・公的)	
■MEMS 懇話会、研究会活動、海外ミッション等の活動に参画できる	人数制限なし	△ (注 6)	—	—
■マイクロナノネットへの参加 (ニュースレター配信、ネット交流)	人数制限なし	人数制限なし	人数制限なし	本人のみ
■MNOIC 利用割引	P、V コース	P、V コース	—	—
■MEMS センシング&ネットワークシステム展出展料割引 (注 1)	コマ数制限なし	コマ数制限なし	1 コマ	—
■端技術交流会の参加料割引 (注 2)	人数制限なし	人数制限なし	人数制限なし	本人のみ
■MEMS 講習会の参加料割引 (注 2)	人数制限なし	人数制限なし	人数制限なし	本人のみ
年会費 (不課税)	100 万円 (注 3)	30/20 万円 (注 4) (注 5)	5 万円	5 千円

(注 1) 出展料割引については、その都度定める。

(注 2) 参加料割引については、その都度定める。

(注 3) MMC一般・特別賛助会員の方は、協議会の正メンバー年会費無料。

(注 4) MMC情報・団体賛助会員の方は、協議会のアソシエートメンバー年会費無料。

(注 5) アソシエートメンバー (団体) については、MEMS協議会との相互入会により年会費相殺可。

(注 6) アソシエートメンバーについては、一部の研究会活動に限定的に参加できる。

5. 組織・体制

MEMS協議会は、一般財団法人マイクロマシンセンター（MMC）の下に設置されたビジネスコミュニティです。MMC理事長を会長とする協議会の下に各種委員会が設置され、協議会活動の推進にあたります。また MMC産業交流部が協議会事務局です。

【組織・委員会構成】

協議会役員

会長	西澤 格	（株式会社日立製作所 執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長 兼 研究開発グループ技術戦略室長）
副会長	岡 徹	（三菱電機株式会社 上席執行役 開発本部長）
副会長	伊藤 寿浩	（東京大学 大学院 工学系研究科 精密工学専攻 教授）
事務局長	長谷川 英一	（一般財団法人マイクロマシンセンター 専務理事）

委員会構成

MEMS協議会推進委員会 委員長：岡 徹（協議会副会長）
┆産業交流委員会
┆国際交流委員会
┆MEMS事業者連携委員会

【協議会の構成メンバー】

（2024年6月3日 現在、メンバー総数 165）

協議会メンバー （45）

正メンバー（一般・特別会員）	（9）
アソシエートメンバー（企業・団体）	（24）
アソシエートメンバー（中小ベンチャー）	（4）
MEMSフェロー（個人）	（4）
協議会アドバイザー	（4）

アフィリエイト （120）

MEMS分野に係るアカデミーや地域開発拠点、海外関連機関等に対して、協議会活動と連携していただけるように随時アフィリエイト登録を呼びかけていきます。

【事務局】 MEMS 協議会の事務局は産業交流部が担当します。

一般財団法人マイクロマシンセンター MEMS 協議会 事務局
〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 MBR99 ビル 6 階
Tel: 03-5835-1870 Fax: 03-5835-1873
E-mail: mif@mmc.or.jp
URL: <https://www.mmc.or.jp/mif/>